

第15期 第12回白石区地域部会・運営部会 議事録

日時:2025年3月12日(水)10:30~12:00

場所:白石区役所 2階窓側会議室

○出席者

常盤野会長・田端係長・相談室きよサポ岡崎氏・黒田氏・相談室あゆみ菊地氏・赤間氏・ビビット南郷田中氏・ピアデザイン稲垣氏・ワンオール林氏・夢民戸田氏・越後氏・ここりか服部氏・事務局西町

○欠席者

なし

1. 報告・連絡事項

*部会長より

■子ども部会再開準備研修会 参加者38名 2月19日(水)9:30-11:30

- ・ファシリテーターは現場の児童発達支援管理責任者+運営委員で構成。
- ・研修後のファシリテーターの振り返りからは、意見が少なく、開催の難しさが感じられた。
- ・受講生アンケートからは、勤務年数ごとにこのような研修をしてほしい、保護者対応について等の声が挙がる
- ➡次年度に反映させていきたい。
- ・参加時間帯は午前中が良いとの多数意見あり。年2回程度研修が開催できると良い。
- ・自由記述では、加算の取り方を知りたいとの意見が挙がるが、地域部会で取り扱うのは難しく、子ども部会の同業種場で取り扱える内容ではないかと思う。地域部会では支援の質、連携で中心考えていきたい。

【ファシリテーター(運営委員より参加)を担当した意見】

- ・経営に関する話題があり、何人規模が望ましいのか、虐待の通報の加減(タイミングなど)が難しく判断がつかないとの声。通告することで保護者との関係性に不和が生じる難しさがあることも語られる。相談室の利用の仕方や、委託と指定の区別がつかない方もいた。
- ・同業種、同サービス事業者同士でも、知り得ていない情報があり、共有している(入浴サービスなど)
- ・実際の事業に関する情報交換がメイン。保護者に対する支援、意向にどれだけ沿えるか、ギャップをどうするか、ペアレントトレーニングの方法など。相談室や他事業所との連携が取れていないこと。
- ・母との関わりがうまくいかない。母が理想としているものと現実に相違があり、受容できていないこともある。どう踏み込んでよいのか。どこに相談して良いか分からない。相談室の少なさを嘆く声も。中学生までしか受け入れをしていない児童デイがあり、高校になると他事業所を探すように言われるが、結果その事業所に留まるケースもあり、入れ替わりが起きない。
- ・進路のことを求められたときに、どこまで介入して良いのか、それが正しいのかは分からない。家族の意見が主になる傾向があり、回答に困ることがある。
- ・職員への指導の仕方の悩みでは、子どもとじゃれ合うことの線引き、限度が非常に難しい。
- ・相談室の介入が希薄。

■地域部会連絡会 2月20日(木) 18:15-19:15 オンライン

- ・各区、地域部会の中での指定特定の位置付けに関する混乱が起きている。
- ・厚別区は地域部会の中に相談部会がある。
- ・東区は既に連携部会があり、そこに指定相談が入っている。北区も同じ方向。
- ・報酬、加算、適正な運営方法を知りたいとの声があるが、地域部会なのか、専門部会での取り扱いなのか議論。
- ・集団指導の分野別対応があると良いのではないかと。専門と地域がバラバラなので、連携、役割分担の必要性について言及。

■運営会議 3月10日(火)9:30-11:00 オンライン

- ・重度心身障害者のプロジェクトチームより報告。4月に研修会を予定しており、現在動画を作成中。動画地域部会でも公開・配信できるように考えている。7月完成予定の見込み。
- ・ヘルパー課題に対するアンケートは、集計、分析が終わり、3月末までに結果が配付できる見込み。
- ・就労推進部会から、令和7年10月からの新規事業「就労選択支援事業」について共有。報酬単価が高いこと、ビジネスライクに運営可能な仕組みでもあり、全国(札幌も含め)で10市モデル事業を行っている。どのような仕組みで行っていくのか、申請をどうするのか。相談室の役割なども調整が行われている。
- ・相談支援部会からは、不適切な支援が行われていると思われる事業所に対し、指定特定相談、委託相談から札幌市に情報が上げられる仕組み作りでの方向性を提案。

*就労部会より

■2月19日(水) 集まる場開催

- ・就労移行支援事業所からの事例をもとに参加者で話し合う。14名参加。管理者・サビ管が半数、支援職半数。
- ・実際に企業就労した方の支援をどのようにしていくと良いか。自由にアイデアを出し合える雰囲気で行われ、例提供者も新たな発見を持ち帰られたような感想をいただく。
- ・初参加の方もおり、ネットワークづくりの意味合いも見られた。
- ・グループもなく、フリーで参加できるような構成も良かった。

*基礎研修チームより

■2月21日(金) 基礎研修チーム研修 14名参加

- ・茶話会式にし、同じような経験年数で集まり、話は途切れることなく時間が過ぎていった。テーマがあった方が良く、席替えなどあっても良い、という意見がアンケートで見られる。他分野の仕事を知りたいという意見も。
- ・運営側で研修の年間統計を出し、参加人数の推移を図る。

2. 協議事項

1) 指定特定相談事業所と白石区地域部会との連携のあり方

交流会を地域部会に位置づける、という流れは委託相談だけではなく、指定特定相談側の意見も聞きながら決めていく。方向性としては地域部会に位置づけることだが、各区で動き出しのタイミングはそれぞれで揃っていない現状。一年間かけて、交流会、地域部会が関わり合う基盤作りを行う必要がある。

【指定特定相談の地域部会(運営委員)への参加】

・相談室ぷらうむ 細谷氏

・相談室あいりす 大島氏

➡1名は運営委員へ参加、もう1名は小チームに加わっていただく

2) 次年度の役員体制(新規役員等の推薦があれば)

部会長 田中雅人氏 副部会長 服部篤隆氏 常盤野晴子 事務局 西町祐哉

現委員は継続 白石区社会福祉協議会については4月より金澤氏が運営委員として参加予定(4月にご連絡をして正式な承諾をもらう)

➡異論なし

3) 次年度の部会、チーム等の体制

➡こども部会は引き続き休止中。

4) 構成員名簿等の扱いと構成員へのメリットについて

➡次回検討。課題シートのようなものがあり、それが運営部会に流れてくるような仕組み。

➡名簿管理。事務局で行う。(ラダーサポートさんが現在行っているが、現在運営委員に関わっていない)

5) 次年度の活動について(時間があれば)

基礎研修チーム 企画運営が相談室きよサポへの負担が大きく、他運営の力を借りたい。研修の枠はできおり、中身や外部講師などの調整を相談したい。

6) その他

3. その他

○告知・PR

○次回予定 2025年4月9日(水)10:30~12:00

場所 2階窓側会議室 次回司会 服部氏